

世界の農業機械・資材トレンド

ヨーロッパの農機実用テストの権威、ドイツ「profi」誌に掲載された世界の農機の最新情報

Think safety - before it's too late
フィンランド

転ばぬ先の杖—農家の安全対策



フィンランドで、年数の経った農業機械のシャフトに農家が衣服を巻き込まれ、死亡する事故が起きた。無防備に露出したPTOシャフトが危険なことは誰もが承知していることだ。度重なる不幸なニュースに、農業関係者の多くが自分たちの作業の危険性を改めて考えさせられた。

フィンランド農業界での緊急の安全課題は、多数の作業員が古い建物の中で作業していたり、時代遅れの機具を使用していることである。

だが外部からの援助を得る前に、まずは自分でできる確実な危険防止策がある。「作業を急いで行わない」「適切で安全な作業着と履物を身につける」「空腹や疲労時には休憩をとる」などだ。これは畜産農家や畑作農家にとっても同じだ。

大抵の場合、若い農家は自分の父や祖父と同じ作業法を機械的に繰り返す。必ずしも高価とは限らない、最新の作業支援機具や装置で、利用可能なものがあるかなど、考えてもみない。

写真は安全対策機具のひとつ。コンバインやトラクタといった重量のある車輪の交換時に、これまで何人も農家が死亡したり重傷を負ってきた。このような便利な装置を使えば、そうした農場での悲劇は防げたかもしれない。

毎日の農作業にほかのやり方はないものか、あらゆる選択肢を考えてみよう。もっと安全な方法があるかもしれない。



車輪交換装置などの機具が常備されていれば、日常的な作業はずいぶんとはかどるもの。極端に言えば、この種の機具のおかげで命拾いをすることもある。

Giant combine from AGCO
米国

AGCO社の巨大コンバイン



2006年の収穫シーズンにAGCO社から販売された新型機「チャレンジャーモデル680BクラスⅧコンバイン」の市場での評価は、まだ定まっていない。だが、同機は米国の農家が注目しそうな特色をいくつも備えている。

たとえば、そのタンク容量。1万2334ℓもの大型タンクを持ち、さらに業界最速という毎秒約160ℓでの荷降ろしが可能だ。この速さは、同じ大きさの競合機と比較した場合、1日の荷降ろし時間が45分間短縮できることになるという。

農家受けしそうなもうひとつの特色は、操作が簡単なことだ。ほかのチャレンジャーシリーズの660、670型と同様、この680Bは、機械全体の作動に合計11本のベルトと3本の駆動チェーンしか使っていない。その結果、要となる調節用パーツの数が少なくなり、作業休止や保守点検の時間が短縮できるという。

同社の先進収穫システムロータ(AHS)は、取り込み、脱穀、選別、吐出の4機能を備える。ロータは油圧で駆動。エンジンの回転数や圃場状態に変化があっても、オイル流動を電子制御で調節するため、ロータ回転数を設定値に保持できる。操縦者は、3速の変速機で毎分最大1040回までの回転数と速度が選択できる。

機体装備一式に含まれるのが、コンピュータシステム「フィードスターⅡ」と付属ソフトだ。このシステムは、作業面積、消費燃料、エンジン負荷を記録して、データを事務所コンピュータに転送できる。オフションのソフトを追加すれば、穀物収量のマッピングを行なえるなど、精密農法に必要とされるハードとソフトの全条件を備えることが可能だ。



AGCO社でもっとも注目を集めた最新機「チャレンジャー680BクラスⅧコンバインハーベスタ」。米国の農家はその性能を見定めている最中だ。



Oxy welder lights the way
オーストラリア

行く先を照らす酸素溶接機



オーストラリアの「酸素アセチレン混合の溶接・切断トーチランプ」の通信販売が開始された。インターネットを介して、英国と欧州大陸向けに行なわれているものだ。同機はガスの混合技術を利用しており、保守作業に理想的な機具とされている。サイトでは製品紹介のビデオも見られる。

ウエルディング・ダウンアンダー社のバリー・マコー氏は、オーストラリアで12年間このトーチランプを販売してきた。同氏によると、この商品（DHC2000）は、酸素とアセチレンの混合比を精密に調整し、ごく狭い範囲に加熱部位を集中できる。そのため、アルミニウム、ステンレス、鋳鉄、鋳造アルミニウム、薄型パネルスチールなど通常では溶接困難な材料でも、ほぼゆがみなしに溶接できるといふ。ミグ溶接やティグ溶接と異なり、溶接部位は曲げられ、ハンマーで叩いたりドリルで穴を開けたりすることもできる。最大で厚さ25mmのスチールの切断が可能だ。溶接時は防護服を着なくても作業が行なえる。小型ガスボンベがあれば好きなところへ持ち運んで使える。

機材の価格は、基本セットの約2300ポンド（約5万5000円）から。詳しい情報は <http://www.welddownunder.com/> で入手できる。

High-Speed Trac from Vredo

オランダ

ブレド社の高速車輪式トラクタ



オランダのドーデバルト地方

の村で創業した農機メーカー、ブレド社が、時速60km以上の高速運転ができる自走式車両「トラク（VT2716HS）」を開発。「VT2516（小型モデル）」の後継機として、ブレド社の高速車輪式トラクタのシリーズに加わることになった。

エンジンはティアー社製の「III DIPS」を利用。機体の前部と後部両方に、3点ヒッチと機械式PTOが備わっている。

同社の自走式車両（VTシリーズ）では、事実上最高機能を備えたモデルとなった。

このほかの大きな特徴として、懸垂式V T運転室、懸垂式フロント車軸、運転席後方の大型荷台、四輪駆動、四輪パワーステアリングがある。四輪操舵（カー走行ステアリング）が標準装備で、車両の四輪駆動は速度が時



オーストラリアのトーチランプ（DHC2000）は、農場での利用に最適だという。

Ukrainian firm adopts upbeat machinery sales stance

ウクライナ

販売攻勢をかけるロシア企業



ロシアの農機メーカー、ロッセルマッシュ社が、ウクライナに新しく事務所を開設した。同国での営業活動を活性化させる販売拡大計画の一環だ。販売戦略の要は、コンバインの市場シェアを70%に伸ばすことである。

ウクライナでのコンバインの年間販売台数は、約1500台。あらゆる分野の中古機をEU全域から輸入販売する企業が、ロッセルマッシュ社の競合相手となる。

なお、同社の今後の選択肢のひとつとなるのが、協議中と伝えられている同国のケロンスキー・コンバイナー工場との合併企業設立だ。この工場では現在、穀物用ハーベスタが製造されている。

速18kmになると自動解除される。

足回りには、ミシエラン社製の「カーゴ×由サ750/60R30ラバータイヤ」を装着。VT2716HSの車幅は2.4mで、荷台の最大積載量は16t。

また、同社では新型のアーム式コンテナシステムも開発中だという。



ブレド社の自走式車両トラク（VT2716 HSモデル）は最高時速60kmで走行できる。